

機体整備の技術競う

中日本航空専門学校チーム戦で6競技

関市迫間の中日本航空専門学校で、第11回航空整備科技能コンテストが開かれ、同科で学ぶ1〜3年生計約210人が機体整備の

基本技術を競った。

航空整備士を目指す同科の学生を対象とし、チャレンジ精神を養い、整備技能



真剣な表情で競技に挑む学生ら＝関市迫間、中日本航空専門学校

の向上につなげてもらおうと開催。今回、4年ぶりに大手航空会社で活躍する同校卒業生も参加し、後輩たちに手本を示した。

サンプル部品をノギスと呼ばれる計測器で測る競技、アルミニウム合金の鋸のリベットを機械で正確につぶす競技など計6競技をチーム戦で実施。学生

たちは作業のスピードと正確性を競った。

ジェットエンジンのねじが緩まないよう針金をかける競技に挑んだ1年久家千智さん(21)は「最高の仲間と参加できて楽しかった。時間を意識し過ぎて正確性を欠いたのが課題」と話した。(高橋友基)